

参加登録方法

事前登録制です。ホームページから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます

締め切り：2012年8月3日(金)

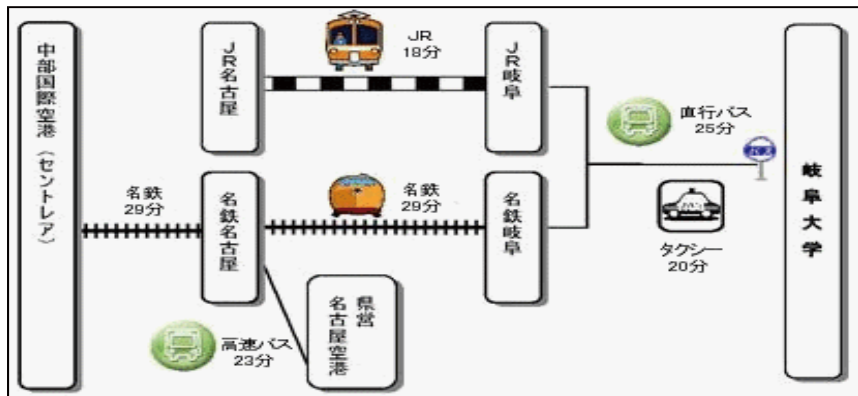
※ MEDCホームページ(URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/>)からお申し込みできない方は、
FAX(058-230-6468)でご連絡ください。
※ 会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。申し込み多数の場合、ご参加いただけないこととさせていただきます。ご了承下さい。

★参加費：2,000円(資料代) * 学部学生は無料

★懇親会費：3,000円(別途徴収致します)

※講師の先生方を含めて、受付時に徴収させていただきます。参加費は、主に資料作成と報告書「新しい医学教育の流れ」の作成に使用致します。参加者には報告書を後日送付致します。

★会場：岐阜大学医学部 教育・福利棟



市内バスには、JR岐阜⑨番のりば、もしくは名鉄岐阜⑤番のりばからご乗車いただけます。

C70、C60、N45系統をご利用ください。

終点の「岐阜大学病院」バス停でお降り下さい。

所要時間約30分です。

第45回 医学教育セミナーとワークショップ

開催要項・参加者募集

岐阜大学医学教育開発研究センターは、医学教育共同利用拠点として、新しい医学教育の開発と普及を目的とした「医学教育セミナーとワークショップ」を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。第45回医学教育セミナーとワークショップ(夏)は、岐阜大学医学部において、3日間で開催いたしますので奮ってご参加下さい。

岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之

日程：2012年8月17日(金)～19日(日)
於：岐阜大学医学部 教育・福利棟

2012
夏

- WS-1 経験学習サイクルを回しながら学ぶ専門職連携ファシリテーションスキル
- WS-2 思考の可視化(マッピング)を医学教育でどう活かす?
- WS-3 歯科領域における情報提供、行動変容の援助をめぐる医療コミュニケーション教育
- WS-4 質的研究の手法を用いた医学教育研究・臨床研究 * Seminar-1と連結しています。
- WS-5 新たに医学教育に携わることになった方のための、楽しい医学教育ベーシック
- WS-6 役立つ医療・医学英語を身に付けるには?
- WS-7 Advanced OSCE再考
- Seminar-1
医学教育研究・臨床研究における質的研究の概論 * WS-4と連結しています。
- Seminar-2
「もはやヒポクラテスではいられない」時代の医師像・医療者像

全体のプログラム						
17日(金)	午後 13:00-17:00	WS-1	WS-2	WS-3		
	夕 17:15-18:15	セミナー1 (WS-4と連結)				
18日(土)	午前 09:00-12:30	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5
	午後 13:30-17:00	WS-6	WS-7		WS-4	WS-5
	夕 17:15-18:15	セミナー2				
	夜 18:30-20:00	懇親会				
19日(日)	午前 09:00-12:30	WS-6	WS-7		WS-4	WS-5

MEDC
MEDICAL EDUCATION DEVELOPMENT CENTER, GIFU UNIVERSITY

医学教育共同利用拠点：
岐阜大学医学教育開発研究センター
Tel: 058-230-6470
email: medc@gifu-u.ac.jp

MEDC 検索

8月17-18日(金・土)のプログラム

Seminar-1 医学教育研究・臨床研究における質的研究の概論

講師：大谷 尚(名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授)

日時：8月17日(金) 17時15分～18時15分

概要：質的研究は、主に観察や面接(インタビュー)によって、質的データ(言語記録)を作成し、それを分析します。近年医療系の研究においても、ますます活用が進み質的研究手法を用いた論文が学術誌に掲載されています。しかし、統計学的手法のような定式的分析手続きが存在しない質的研究においては、その分析作業は、楽しくもあり困難な作業でもあります。現在名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授の大谷氏は、SCAT(Steps for Coding and Theorization)という、初学者にも着手しやすく、比較的小規模のデータにも適用できる方法を開発・発表され、医療系の研究でも広く使われています。本セミナーでは、質的研究に関する総論を理解するための概論をご講演頂きます。なお、本セミナーは、WS-4「質的研究の手法を用いた医学教育研究・臨床研究」と連動しており、WS-4参加者は原則として、本セミナーの受講が必要です。もちろんWS-4に参加されない方の参加も受け付けております。

WS-1 経験学習サイクルを回しながら学ぶ専門職連携ファシリテーションスキル

日時：8月17日(金)13時～17時、18日(土)9時～12時半

企画：春田淳志(東京大学)、大塚真理子(埼玉県立大学)

概要：2010年WHOはGlobal Healthの危機を脱する刷新的な方略として専門職連携教育 Interprofessional Education(IPE)/ 専門職連携実践 Interprofessional Collaborative Practice(ICP) の重要性を報告したが、我が国全体での導入は遅れている。IPE/ICPの普及には理論的基盤を備えたファシリテーターを育成することが必要であるため、このワークショップではイギリスと埼玉県立大学で行われているIPEファシリテーターワークショップを融合し、Kolbの経験学習サイクルを回しながら参加者自身の実践知を作ることを目的とした。これ自体がアクションリサーチの一環となるため参加者には研究参加の同意書をいただくこととなるが、特に病院・診療所で働いている各職種のみなさんに気軽に参加していただきたい。

対象：教員、指導医、学生、研修医など。定員：30名

WS-2 思考の可視化(マッピング)を医学教育でどう活かす？

日時：8月17日(金)13時～17時、18日(土)9時～12時半

企画：浅田義和(自治医科大学メディカルシミュレーションセンター)

概要：ワークショップ初日では、マインドマップ(※)に代表されるマップを用いた思考の可視化手法やその活用事例に関して、教育学の視点や実践ワークなども交えながら簡単に紹介します。2日目には、医学教育で応用するためのディスカッションの場を企画しています。※マインドマップは思考そのもの、および思考の流れを可視化するためのツールです。8th APMEC(アジア太平洋医学教育学会)で「Using Mind Mapping in Medical Education」と題したワークショップが行われるなど、医学教育において興味・関心が高まっています。【ワークショップのゴール】1日目：「思考を可視化する」ツールの理解(知識、実践スキルの両面で)、2日目：各自の専門領域を活かした、マップ活用法のディスカッション

対象：医学教育・教育手法に興味のある方、医師・看護師等の医療従事者、および学生など。定員：30名

WS-3 歯科領域における情報提供、行動変容の援助をめぐる医療コミュニケーション教育

日時：8月17日(金)13時～17時、18日(土)9時～12時半

企画：木尾哲朗(九州歯科大学)、鈴木一吉(愛知学院大学歯学部)、脇 忠幸(広島国際大学)、藤崎和彦(MEDC)

概要：共用試験OSCEの正式実施から7年がたち、歯科の医療コミュニケーション教育での初診医療面接教育はポピュラーに教えられるようになってきた。しかし、情報提供のコミュニケーション教育では、主に伝える内容(contents)については教育されているものの、情報提供のコミュニケーション過程(process)については、まだ十分に教育されているとは言えない。さらに、歯科では非常に重要となる行動変容の援助をめぐるコミュニケーション教育については、まだまだ十分とはいえない状況である。今回のWSでは、このような歯科領域における情報提供、行動変容の援助をめぐるコミュニケーション教育に焦点を当て、参加者とともに今後の歯科医学教育における方向性を検討していきたい。

対象：歯科医師、教員、研修医、歯科衛生士、その他、歯科における情報提供、行動変容の援助をめぐるコミュニケーション教育に関心のある方すべて。定員：30名

8月18-19日(土・日)のプログラム

Seminar-2 「もはやヒポクラテスではいられない」時代の医師像・医療者像

講師：尾藤誠司(国立病院機構東京医療センター 教育研修部臨床研修科医長/臨床研究センター臨床疫学研究室長)

日時：8月18日(土) 17時15分～18時15分

概要：尾藤氏は平成2年に岐阜大学を卒業後、(尾藤氏いわく「絶望的な学生であったため、どこの医局も取ってくれなかった」ため)大学医局に一度も属さず破天荒な人生を歩んできている、岐大卒業生としてはちょっと変わったキャリアの持ち主です。現在は、臨床研修病院として高い人気を保持し続けている国立病院機構東京医療センター臨床研修科医長として、研修医や若手医師の指導を活躍に行なっておられます。また、「医師アタマ」「白衣のポケットの中」など、医療専門職のあり方や患者-医療者関係などに関する著作も多数出版されています。今回は、尾藤氏が中心となって展開している「もはやヒポクラテスではいられない」21世紀新医師宣言プロジェクトの紹介を中心に、現代の患者-医療者関係の中で、医療者はどのような存在であるべきか、どのようなスタンスで患者と関わっていくべきかに関する講演をしていただきます。

WS-4 質的研究の手法を用いた医学教育研究・臨床研究

日時：8月18日(土)9時～17時、19日(日)9時～12時半 (Seminar-1と連結しています)

企画：大谷 尚(名古屋大学)、錦織 宏(京都大学)

概要：医学教育研究において質的研究は量的研究とともに研究手法の両輪をなすものですが、近年、臨床研究の実施にあたっても質的研究に対して関心が高まってきています。本ワークショップでは、医学教育研究・臨床研究における質的研究の位置づけや医学研究との科学哲学の相違などについて概説した後、大谷氏が開発したSCAT(Steps for Coding and Theorization)の手法を用いて、実際に質的データの分析に取り組みます。質的研究の全体像を俯瞰し、分析を体験します。なお本WSは、Seminar-1「医学教育研究・臨床研究における質的研究の概論」と連動しており、WS-4参加者は原則、Seminar-1の受講が必要です。

対象：質的研究について関心があるがあまり知らない方。定員：30名

WS-5 新たに医学教育に携わることになった方のための、楽しい医学教育ベーシック

日時：8月18日(土)9時～17時、19日(日)9時～12時半

企画：鈴木康之・西城卓也(MEDC)、椎橋実智男(埼玉医科大学)、菊川 誠(九州大学)、青松 棟吉(名古屋大学)

概要：近年、卒前の医学教育は大きく変容しました。学生は、より早期から現場に携わることが求められ、より自主的かつグループで学ぶことが期待され、実践的臨床経験が要求されています。一方教員は、医学生を成人として捉え、より学習者中心で、弾力的な教育の提供が求められ、さらに自身が評価される機会も増えました。もはや私たち自身が受けた教育の経験のみでは、現代の医学教育に対応することが困難な時代となったのです。本WSでは、初の試みとして、入学直後から卒業までの卒前教育カリキュラムを俯瞰し、現在実際に行われている講義、実習やその評価について学年の順を追って共有・議論します。ビギナーを対象としたコースと位置付け、医学教育の実践に必要な知識・理論・教育技法・評価方法、プログラム評価などに関して学べる、わかりやすい企画を狙います。

対象：医学部教育に携わっている方で、卒前の医学教育の全体像・教育の基本を学んでみたい医学部教員等。定員：20名

WS-6 役立つ医療・医学英語を身に付けるには？

日時：8月18日(土)13時半～17時、19日(日)9時～12時半

企画：石井誠一(東北大学)、坂野晴彦(名古屋大学)、E. H. Jago, D. Salcedo, J. Thomas(日本大学)、

若林英樹・久保田伊代(MEDC)

概要：医療現場のグローバル化がますます進む現在、医療英語はより円滑なコミュニケーションに欠かせないツールです。また、臨床医学・研究・教育において国際認証が注目され、競争力が問われる中、医療英語教育は大きな重要性を担っています。本ワークショップでは各校での医療英語教育・海外研修や留学生との交流等に関する取り組みをオムニバス形式でシェアすると共に、実際に体験をしていただき議論を展開します。マクロとミクロの視点から医療英語教育の実際に迫りますので、積極的な参加をお待ちしています！

対象：医療英語に興味のある方などでも、医療英語教育に携わるスタッフ、海外研修を考えている医療系学生、正規/課外カリキュラム作りに取り組みされる方など。学生も大歓迎です。定員：30名

WS-7 Advanced OSCE再考

日時：8月18日(土)13時半～17時、19日(日)9時～12時半

企画：藤崎和彦(MEDC)、大西弘高(東京大学)、石井誠一(東北大学)、奈良信雄(東京医科歯科大学)、赤木美智男(杏林大学)、

福島 統(慈恵医科大学)

概要：共用試験の導入トライアル時の「OSCEと言えば共用試験OSCEを指す」のが当たり前といった時代に、卒業時や国家試験レベルのOSCEをイメージして「Advanced OSCE」という耳新しいタイトルのWSを企画したのが、2002年11月の岐阜での第6回医学教育セミナーとWSでした。その時から10年がたち「Advanced OSCE」をめぐる状況も大きく様変わりをしています。本WSでは内外の状況を改めて確認したうえで参加者とともに「Advanced OSCE」を再考する場所を持ちたいと思っています。

対象：医学部、研修病院、医療職教育機関でOSCEを担当する方、及び関心のある方、研修医、医療系学生など。定員：30名

